

ミニなのかまち ～お仕事体験イベント～

七日町商店街振興組合

事業概要 小学生を対象にした商店街の実店舗での職業体験の実施

商店街概要

山形市七日町にある物販・小売から飲食・サービス業など多種多様な業種の店舗が揃った歴史ある商店街。会員は95会員（令和7年7月現在）。地域にかがやくわがまち商店街表彰2024受賞。

インタビュー

七日町商店街振興組合

販売促進部長 川口真 様

（飲食店オーナー）



「ミニなのかまち」の概要について教えてください

小学生を対象に商店街の実店舗で職業体験をしてもらうイベントです。事前に申し込みを受け付け、当日は出勤簿にハンコを押して朝礼を行ってから、各店舗での職業体験を行いました。体験終了後は、日報代わりの感想を書いて退勤のハンコを押し、最後に給料の代わりに商店街で使えるお買物券をもらいます。実際に商店街で働いた経験になる内容にしました。



に焦点をあてた企画を実施することにしました。これまであまりなかった、子どもとお店が関わるきっかけとして、また、子どもたちにとって七日町や街で過ごした思い出が記憶として残り、街への愛着や将来街に関わる礎となることを目指し、今回に至りました。

ミニなのかまちを企画した時の各店舗の反応はどうでしたか

企画の趣旨に賛同いただき、協力的なお店も多く、飲食店からサービス業など幅広い店舗が自然と参加してくれました。将来ビジョンを作った時から、街の未来を見据えた新たな取り組みの重要性を感じていたからだと思います。実際の店舗で職業体験をしてもらうというのは、お店にとっても初めての経験、チャレンジであったので充実感のある取り組みだったのではないかと思います。

なぜ職業体験を実施しようと思ったのですか

七日町商店街振興組合は令和6年2月に設立60周年を迎え、「最高にちょうどいい。七日町」という将来ビジョンを定めました。ビジョンを作成するにあたり、商店街を訪れた方にアンケートを取った結果、七日町は大人の街という印象を持っている人が多く、若い世代や子育て世代の方からあまりいい印象を持たれていないと感じました。そこでビジョンに基づき示された方向性「未来への期待感が高まる街」を実現するために、「子ども」



中には「ミニなのかまち」の趣旨には賛同するものの、通常営業をしながら事業に協力することが難しいという店舗もありましたが、そういった店舗にも少しでも協力してもらえようという個別に話をしました。事業を企画した組合と実際に運営を行う店舗の関係をうまくつないでくれる人がいたことが大きかったです。



実施にあたり苦勞した点はありますか

最初は参加者が集まるか不安でしたが、近隣の小学校でチラシを全戸配付してくれるなど非常に協力的で、多くの子ども達に参加してもらいました。一方で身近な小学校の子ども達に参加してもらい、日常生活の中で商店街との関係を築いてもらうことに重点を置くのか、少し遠くに住んでいる子ども達にも参加してもらい商店街の新たなファンを獲得するのか、という点で悩みました。結果的に、中山町から参加してくれた子もいて、商店街から離れた場所に住んでいてもぜひ参加したいという熱意のある子どもも多かったです。

当日子どもたちはどんな反応でしたか

みんな本当に楽しそうに体験してくれていた姿が印象に残っています。私の店舗では、パフェづくりを体験してもらったのですが、参加してくれた児童の中に



「将来はパティシエになりたい」という子がいて、目をキラキラさせながら体験していたのが印象に残っています。プロの技術を間近で見られる機会はほとんどないので、職業体験が子ども達の将来の夢につながるというストーリー性がある取組になりました。

事業を実施した後の効果はどうですか

子ども達が職業体験を通じて店主と顔なじみになったことで、リピーターで来てくれることがありました。お店に来るハードルが低くなったように思います。受け入れた店舗も「いい経験だった」、「楽しかった」という感想が多く、お店と子育て世代、子どもたちとの関係性を作る第一歩に繋がったように感じます。ミニなかまちの開催で、その後商店街を訪れる方が目に見えて多くなるということではないですが、多種多様なプロフェッショナルが集まる商店街の実店舗で経験したことで、子どもたちが新しい発見や楽しさを感じ、将来の夢や街への愛着づくりにつながる一助となれば幸いです。子ども達が作ったラッピングを後日店舗で配付しましたが、お客様に「すごくいいラッピング。商店街で子ども達が職業体験しているなんて知らなかった」という声も聞かれ、とても嬉しく感じました。



今後はどのように展開していきますか

今年は11月8日（土）に第2回として開催予定です。店舗に関心を持っていただき、参加店も増やしていければと思っております。

また、イベントだけでなく、子育て情報や子育てマップ・サービスの情報発信等、子育てラウンドあ〜べとも連携しながら、日々の取り組みにも力を入れていきます。

今後も、子どもや子育て世代、若者世代へも意識を向け、街の未来につながる取り組みを増やしていきたいです。

まとめ

七日町商店街では将来ビジョンを作り、各店舗で街が目指すべき方向性を共有できていたことで、新規事業でもスムーズに行うことができていました。

商店街を訪れる若い世代が減っているという課題を持つ商店街は多いですが、若い世代、商店街の双方にとって関係を持つきっかけづくりにつながる事業になっています。



【問い合わせ】

七日町商店街振興組合

住 所：山形市七日町一丁目1番1号

電 話：023-631-6368

ホームページ：<https://nanokamachi.com/>